

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 22 号)

2022年 4月 7日発行

兵庫のみ研究所

海域全域に、栄養塩を消費する珪藻類はほとんど確認されませんでした。窒素は、明石海峡部～林崎漁場で概ね  $2 \mu\text{g-at/L}$  前後、魚住漁場以西では、陸水等の影響が見られる地先で概ね  $3 \sim 5 \mu\text{g-at/L}$  台、沖筋で  $1 \mu\text{g-at/L}$  以下の値でした。

(水温) 漁場内平均  $12.0^\circ\text{C}$ 。昨年比  $0.4^\circ\text{C}$  低く、平年比  $0.3^\circ\text{C}$  高い。(塩分) 平均  $31.91\text{psu}$ 。前回 ( $31.96$ ) より  $0.05\text{psu}$  低い。  
 (栄養塩、珪藻) 海域全般に、小型珪藻のキートセロスやスケルトネマ等は散見されるが、発生量は極めて少ない。大阪湾漁場では、スケルトネマの大量発生に伴い栄養塩が減少しているため、明石海峡部の窒素も減少傾向にある。  
 小潮で潮流が非常に緩やかな時間帯に調査を行ったこともあり、魚住漁場以西の地先では陸水の影響が強く見られ、窒素の値は高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	11.0	12.0	11.7	12.4
窒素	2.5	3.0	3.2	2.0
リン	0.28	0.24	0.26	0.28

(4/1)

(4/7)

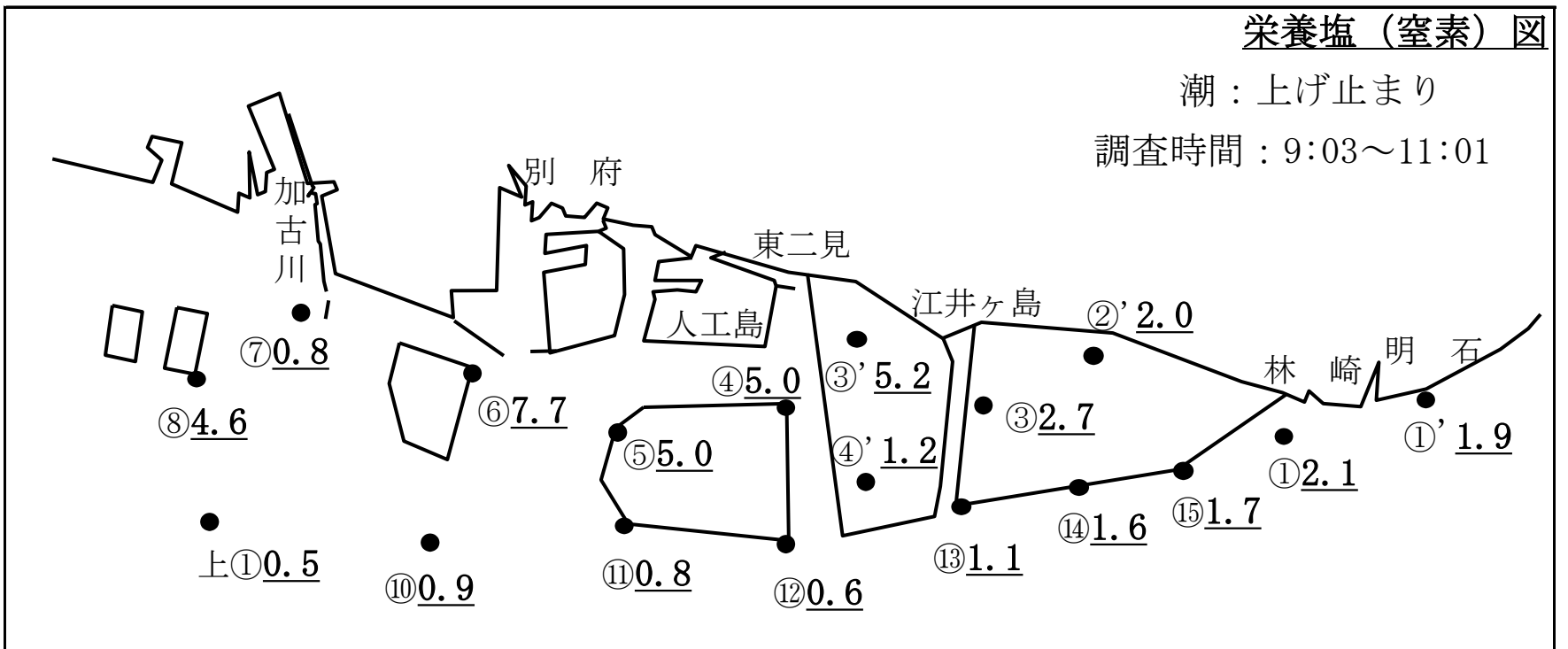
※窒素の平均は別府を除く

2022年 4月 7日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ止まり

調査時間：9:03～11:01



## 水温図

